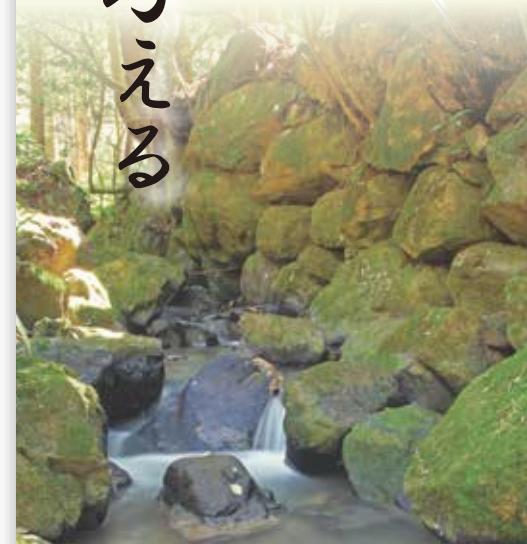


越前一向一揆

四五〇年を経て

豊原寺

を
考
え
る



朝倉家滅亡後、越前で一向一揆が起こり、天正3年(1575)織田信長に攻められ、その拠点となった豊原寺が焼き討ちされました。豊原の地を与えられた柴田勝豊は、その後丸岡城を築き移転します。

越前一向一揆の壊滅や豊原寺の焼亡から450年という節目にあわせ、戦国時代の越前を揺るがせた一向一揆、また丸岡城の前身と言える豊原寺に関する講演と、学芸員による関連報告を行います。

とき 令和7年12月6日(土)

午後1時30分から(開場は午後1時)

ところ 高槺コミュニティセンター4階
古城ホール

〒910-0242 福井県坂井市丸岡町西里丸岡12-21-1

入場無料

申込不要

講演 13:30 ~

「中世の豊原寺と越前一向一揆」



まつうら よしのり
松浦 義則 氏

福井大学名誉教授
坂井市丸岡城調査研究アドバイザー

1946年生まれ
広島大学大学院文学研究科国史学専攻博士課程
単位取得退学
主要著書
『戦国期越前の領国支配』(戎光祥出版、2017年)
『白山平泉寺』(共著、吉川弘文館、2017年)ほか

関連報告 15:00 ~

「越前一向一揆における豊原寺の動向」

角 明浩(坂井市丸岡城国宝化推進室 学芸員)

「豊原寺の発掘からわかったこと」

堤 徹也(坂井市文化課 学芸員)

「丸岡城下における真宗寺院の成立」

大廣 克也(坂井市龍翔博物館 学芸員)

丸岡藩本多氏時代の絵図をもとに作成した「丸岡城下町再生古地図」や丸岡城のトピックスは右記QRコードからご覧いただけます。

